

重点項目(3か年計画)

- 1 利用者の暮らしに潤いを感じることができる支援の実践
- 2 稼働目標を達成し財務状況が安定する
- 3 職員個人が力を発揮できる組織づくり
- 4 地域の高齢者やご家族に対し、拠点施設として役割を果たす
- 5 建物設備の環境整備を進めていく

1 利用者の暮らしに潤いを感じることができる支援の実践

- 1) ご利用者の暮らしを中心とした生活の組み立て
 - ・快眠へのアプローチとして、ICT技術を含めた取り組みの実施する
 - ・夜間の利用者対応の在り方を検討するとともに夜間業務のスリム化を図る
 - ・重介護者の方への余暇の在り方を検討する
- 2) 地域・利用者ニーズに合うサービスの組み立てと実践
 - ・ショートステイ入退所時間の課題整理と解決に向けての調整を行う
 - ・デイサービスにおける「楽しみ」となる活動内容の検討をする
- 3) 特養の医療対応受け入れについての具体的な検討
 - ・受け入れ可能対象者像の具体化を検討する
 - ・介護、看護との意見のすり合わせと、他施設との情報共有を図る

2 稼働目標を達成し財務状況が安定する

- 1) 通所事業の稼働の向上と安定
 - ・利用者が思う「健康志向」を活動に取り入れるとともに職員の意識改革を行う
 - ・入浴希望者を円滑に受け入れ、安心して過ごせる環境を提供する
 - ・事業アピールのための広報活動、情報発信を効果的にを行い、新規利用者を獲得する
- 2) 稼働の安定継続に向けた取り組み
 - ・定員110名を意識した受け入れの継続に取り組む
 - ・栄養マネジメント加算を取得する
 - ・入所を円滑にするためのベッドコントロールの実践をする

3 職員個人が力を発揮できる組織づくり

- 1) 安心して仕事ができる環境・仕組みづくり
 - ・かかえ上げゼロに向けた福祉用具を使用したケアの標準化を図る
 - ・職員の「身体健康講座」を実践する
- 2) 適正配置を踏まえた業務の見直しと実施
 - ・職員配置の見直しと業務組み立ての工夫を検討する
 - ・事務的業務の集約化を図る
 - ・ICT関連機器の活用に向けた取り組みを実践する

4 地域の高齢者やご家族に対し、拠点施設として役割を果たす

- 1) 地域実態の把握と分析
 - ・地域で求められていることを探りながら関係性の強化を進める
 - ・食事サービス(湧夕・通所事業持帰り)の拡大を模索する
 - ・身近な地域のボランティア人材獲得に向けての検討をする
 - ・多目的ホールの新たな活用(木曜健康講座の自主化等)を検討する

5 建物設備の環境整備を進めていく

- 1) 計画的な施設整備
 - ・ICT化ナースコールの更新とセンサー機器の活用を検討する
 - ・厨房機器の更新を行う
 - ・入浴設備導入に向けた検討チームを立ち上げる
 - ・組織的5S活動を実践(整理・整頓・清潔・清掃・ルール作り)する